

雑がみ用の指定ごみ袋はありません。紙袋、封筒、透明又は半透明な袋などに入れて出します。

《雑がみの出し方》



【雑がみの出し方】

- ①紙袋や封筒に入れた雑がみが、飛び出さないようにひもで縛ってください。
- ②箱類は平らにたたんで袋に入れてください。
- ③紙袋や封筒がない場合は、透明又は半透明な袋に入れてください。

注意点

- ▶縛るひもは紙製が最適ですが、紙製のひもがない場合は、ビニール製のひもでもかまいません（ガムテープは使用しないでください）。
- ▶住所・氏名等個人情報が書いている物の取扱いには注意をしてください。

【古紙類の出し方】

- 資源ごみの日(各地区月1回)に出してください。
町内会等で集団資源回収を行っている地域は、引き続きご利用ください。
- 古紙類は、5種類に分類して出してください。
- 指定のごみ袋はありません。ひもで縛るか透明又は半透明な袋に入れてください。
- 段ボール箱に入れて出さないでください。

種類	同じ袋に入れる又は束ねて良いもの		
①	雑がみ	④	雑誌、書籍
②	段ボール	⑤	紙パック
③	新聞、チラシ		

古紙類は集団資源回収、拠点回収(P17を参照)も利用できます。